

「市政への意見・提言」

貴重なご意見・ご提言をありがとうございました

市民の皆さんの声を直接お聴きし、対話の行政をいっそう進めるため、毎年実施している「市政への意見・提言」に、半年間で、278人の皆さんからご意見などをいただきました。（平成19年10月～3月受付分）お寄せいただいた「意見・提言」は、すべて市長が拝見し、匿名などの場合を除き可能な

限り回答しました。また、市民の皆さんの暮らしに根ざしたご意見、ご提言として今後の市政運営の参考といたしました。

集計の結果から

「意見・提言」は、市政全般にわたっていただきました。

道路整備や交通安全対策、福祉、医療、環境・ごみ問題など、市民生活に密着した分野の意見が数多く寄せられました。また、彦根市の行財政運営、活性化、観光、都市計画、ひこにゃんなどに関する意見も多くいただきました。

集計結果をお知らせします

意見・提言の内容を掲示します

皆さんからの「意見・提言」のうち、公開の承諾をいただいたご意見、ご提言のなかから、広く皆さんにお知らせすべきものについて、その内容を次のとおり掲示します。

期間 7月16日(水)～同31日(木)
※土・日曜日・祝日は除く
場所 市役所1階ロビー

問い合わせ先 囲まちづくり推進室 ☎30-6117番、FAX22-13998番



実施期間	通年
実施方法	▶「広報ひこね」12月1日号に印刷して、各戸配布 ▶彦根市ホームページから電子メールで受付
投書件数	289件
内容別件数	(彦根市総合発展計画ひこね21世紀創造プラン)の5つの柱ごとの集計)
▶人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり	…21件 (7.3%)
*福祉関係	12件
*医療	4件
*健康管理	5件
▶良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり	…38件 (13.1%)
*環境保全・リサイクル	16件
*公園・緑地	8件
*上下水道	5件
*交通安全対策	4件
*地域安全対策	3件
*都市景観	1件
*消費者保護対策	1件
▶活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり	…19件 (6.6%)
*公共交通	8件
*観光	3件
*道路整備	7件
*土地利用	1件
▶明日の彦根市を担う人を育むまちづくり	…12件 (4.2%)
*学校教育	6件
*生涯学習	3件
*幼児教育	3件
▶人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり	…3件 (1.0%)
*歴史文化資産の保存・活用	2件
*文化・芸術	1件
▶その他	…196件 (67.8%)
*ひこにゃん	150件
*行財政運営	37件
*広域連携	1件
*その他	8件

問 鎖国から開国へ大きく舵を切った井伊直弼の遺徳を偲ぶ、今日的意義は大きく、近代日本の先覚者としての政治的功績を再評価するべきです。開国から150年となるこの時期を記念すべき年とし、井伊家の墓所のある東京都世田谷区といつしよに取り組まれるか、あるいは世田谷区と姉妹都市関係を結ばれてはどうでしょうか。〔男性・60歳以上〕

答 世田谷区は、江戸時代における彦根藩の飛地の藩領であり、その縁で豪徳寺は、江戸における井伊家の菩提寺になっていました。こうした歴史的な縁もあり、世田谷区で毎年開催されている「ふるさと区民まつり」へ参加するなど、交流を図ってきました。

現時点では、姉妹都市提携は考えていませんが、今後とも江戸時代の幕藩体制と大名文化を考える上で、貴重な遺産を有する豪徳寺との関係を大切にしながら交流を深めていきます。

今年、井伊直弼が大老に就任し、日米修好通商条約を締結してから150年目となります。これを記念して6月から平成22年(2010)3

月にかけて、「井伊直弼と開国150年祭」を開催し、井伊直弼や開国を切り口とした事業や、地域の活性化につながる事業を幅広く展開していきます。

問 彦根市の規模や財政事情などを考え、市議会議員の定数を削減してはどうか。〔男性・60歳以上〕

答 議員定数は、地方自治法で人口10万以上20万未満の市にあっては、34人を超えない範囲で彦根市では、28人と規定されています。

彦根市議会では、議会改革に関する事項について、市民に見える形で改革に取り組むため、平成19年9月に議会改革特別委員会が設置されています。そのなかで、議員定数については、議会改革の最優先課題として具体的な協議が進められています。

問 宝・彦根城築城400年祭のイベントに参加し、楽しいひとときを過ごせたと喜んでいますが、20年前には宿泊することができた楽々園に泊まれなかったことを残念がっていました。また、と

なりの八景亭も昔の面影がありません。観光客のためにも彦根城近くの伝統ある建物をきれいにしてください。〔女性・60歳以上〕

答 楽々園・八景亭は、彦根藩の下屋敷として江戸時代前期に造られた建物で、昭和26年に国の名勝に指定され、昭和31年には玄宮楽々園を含んだ彦根城跡一帯が、国の特別史跡に指定されています。

楽々園は、明治14年に井伊家から借り受けた業者によって、旅館が開業されました。その後も経営者を代えながら利用され、昭和22年に彦根市が、玄宮楽々園を井伊家から取得した後も、存続されました。しかし、平成6年に廃業され、建物は彦根市に返還されました。返還後は、老朽化が著しいため、長期的な計画のもとで、玄宮園との一体的な保存整備を平成17年度から進めており、現在、玄宮棟の解体修理を完了し、書院棟の解体修理を準備しています。

今後、八景亭も含めた玄宮楽々園を一体として、保存整備を進めていきます。



市町合併について、彦根市も施設の有効利用や効率的な行政運営を進めるには、近隣市町との合併を推進していかなければならない方向にあるのではないか。〔男性・60歳以上〕

答 市町合併については、自治体の将来に関わる重要な問題であって、市町の自主性が重視されるべきであり、判断する主体は、市民の皆さんです。

現状としては、合併問題に関し、さまざまな意見があります。また、合併したほかの市町村の話や、良かった点、悪かった点、いろいろとあります。彦根市としては、近隣市町と協力し、施設の有効利用も含め、広域行政を進めていく必要があると考えています。しかし、今後、合併の是非を問う必要が生じた場合は、住民投票を実施し、市民が示した意向を尊重していきます。

問 市街化調整区域において、特に、彦根市の南部地域を緩和し、ハイテクやバイテク産業の工場、学校などを誘致し、また、緑豊かな遊歩道や公園もある都市計画を進めてはどうか。〔男性・60歳以上〕

今回寄せられた投書のなかから、皆さんのご意見・ご提言、市からの回答の概要を、一部紹介します。

こんな声がありました

問 現在、妊娠4か月の妊婦ですが、車やバッグに貼るマタニティマークを作り、母子手帳といっしょに渡していただくと妊婦には心強いです。特に、お腹が目立たない人にとって大切だと思います。〔女性・30歳代〕

答 マタニティマークは、妊産婦の皆さんに対して、理解のある地域環境や職場環境づくりの実現のために作られました。このマークを付けている人を見かけたら、電車やバスの席を譲ったり、喫煙を控えるなど、周囲の気づかいが大切になります。彦根市では、平成20年度から希望する人に配布できるよう検討しています。

(5月から、母子健康手帳の発行時などに、希望者へマタニティマーク製品をお渡ししています。)

問 土地利用については、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るために、都市計画に市街化区域と市街化調整区域を定めています。そのうち市街化調整区域は、市街化を抑制する区域としています。現制度では、この区域には、学校(大学・専修学校を除く)の立地は可能ですが、大規模な工場や分譲住宅地は制限されています。

彦根市南部地域の市街化調整区域は、大部分が農用地として位置づけられ、その維持・保全が明確になっています。現時点では、新たな土地利用の推進を行うことは難しい区域です。しかし、社会情勢の変化に合わせて、今後、市街化調整区域の土地利用のあり方について検討も必要であると考えています。

サマージャンポ宝くじ

宝くじは、滋賀県内の売り場!

発売期間 7/14(月)~8/1(金)

財団法人滋賀県市町村振興協会